

# 捨てれば「ゴミ」、活かせば資源

## 資源ゴミ回収に協力を!!

前回、消費生活運動の一環として、古新聞やビン類など、資源ゴミの回収を行ったところ、皆さんの思いこ協力で、十二万円の収益をあげ、全額中学校へ寄附することができました。

今回も十一月から試験的に、別表のとおり実施しますので、一人一人のご理解と協力を、お願い致します。

※なお、決められた日に、決められた場所へ、決められた品目を出してください。

### ◎資源ゴミ回収日程表

回収地区	火・木・土・水にゴミを集める区域				月・水・金・木にゴミを集める区域			
	寺地・寺地団地・山田立仏・焼酎団地・柳地区		善久・鳥原・黒鳥・北場・鶴立・小平方・鳥原新田地区		木場・板井・金巻地区		大野・興野・鳥原新地・川原・鳥原新田・蓮方団地・鳥原大明一部地区	
	古紙・金属類	ビン類	古紙・金属類	ビン類	古紙・金属類	ビン類	古紙・金属類	ビン類
11月	12日(月)	12日(月)	19日(月)	19日(月)	13日(火)	13日(火)	20日(火)	20日(火)
12月	休	10日(月)	休	17日(月)	休	11日(火)	休	18日(火)
1月	休	18日(金)	休	21日(月)	休	19日(土)	休	22日(火)
2月	休	15日(金)	休	18日(月)	休	12日(火)	休	19日(火)
3月	10日(月)	10日(月)	17日(月)	17日(月)	11日(火)	11日(火)	18日(火)	18日(火)

※12・1・2月の3か月は古紙類・金属類・古布類の回収は休みます。ビン類は毎月行います。  
※決められた日の朝10時までに指定された集積場に出して下さい。雨天の時は紙類・古布類は中止です。

次のものは、立派な製品となる貴重な資源です。

### ◎回収品目と出し方

- 1.古紙類…古新聞・古雑誌・ダンボール、⇒十文字にしっかりしばって下さい。
- 2.金属類…アルミ缶・スチール缶・その他(トクン・やかん・なべ・自転車等)
- 3.古布類…バスタオル大以上⇒ひもでしばって下さい。
- 4.ビン類…どんなビンでもOK / (おれたのビンは回収いたしません)

●回収できないもの～プラスチック製品・電球・発泡スチロール・家電品・毛布・ビニール類・タイヤ・粗大ゴミ類



●ビン一本でも一軒、一軒出すことが大切です。回収品目別にきちんと整理して出しましょう。

●収集日以外の前日や夜間は絶対にいらないで下さい。収集日以外に出される方がありましたらお互いに注意しましょう。

●集積場の清潔保持のため、集積場に出す時は一人、一人が責任をもち、近所の人に迷惑をかけるないようにしましょう。

※皆さんの町です、みんなで協力し合って、明るく、きれいな、住み良い町づくりをしましょう。

### 役に立ちます

### 「くらしの豆知識」

くらしの豆知識は広く一般家庭において日常生活の手引きとして利用されているほか、成人となられた方や結婚される方々への消費者意識の普及啓発あるいは、中高生校において消費者教育の一環として利用されるなど、好評をえています。申し込みは役場(七一三〇)一産業課か婦人会又は消費生活改善協力員に申し込み下さい。申し込み期限 十二月下旬



**住** 住み易い家にするために、大工道具は欠かれません。大工道具の中で、一番よく使われるのがカナツチです。新婚家庭などで新しく求めるときは、クギを打つ面の一方が平らで反対側の方のすこし丸みをおびた、いわゆるゲンノウといわれるカナツチがよいでしょう。

一般家庭でよく普通のクギ打ちに使うには、重さが二百十グラムぐらいのものが手ごろです。クギを打つ場合は、まず平らな面で打ち、最後の一打ちというときに丸みのついた面で打ちます。丸みのついていない面を「木ころし」といいますが、木面に当たってもカナツチのあとやキズをつけません。よくクギが打ち締まるので、薄い板にクギを打つときはキリで少し穴をあけ、クギ道をつくらなければ、板を割ってしまうような失敗が避けられます。クギの先が滑って手元の定まらないときは、クギの先をしめらせると打ちやすくなります。

## 特殊な販売に注意

最近、訪問販売や通信販売など特殊な販売方法が多くなってきており、中には、注商品とは異なる異質な商品が届いたり、巧みな話術で品物を買わせたりという被害が発生しています。

消費者は次のことに注意して、自分で十分納得してから、契約なり購入することを心がけましょう。

「本当に必要なものかどうか、よく考える。」

「宣伝、広告は誇大、虚偽でないか、よく確かめる。」

「訪問の目的、相手の氏名、住所、会社名、電話番号を確かめる。」

「商品によっては、アフターサービスについて確認する。」

「公的権威をちらつかせるなど、巧みな話術にまどわされていないか考えてみる。」

「市販品と品質や価格を比べる。」

「契約の内容をよく確かめる。」

「その場で決めるに、家族でよく話し合う。」

「すぐ現金を払ったり、安易に印章を押さない。」

「クーリング・オフ(解約)を知っておく。」

「通信販売は、商品の返品について特約があるか、確かめる。」

「契約するときは、必ず文書をもらい、契約書をよく読む。」

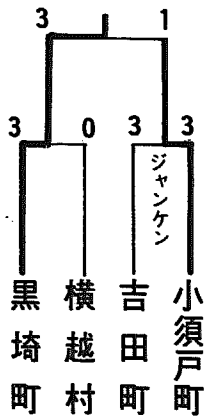
「買いたくないときは、キッパリ断る。」



## 大野町商工会 二年連続県大会へ

新潟県商工連合会主催の、青年部野球下越大会が、黒埼町営球場で開かれ、決勝戦で小須戸町を降

### 下越大会



## 優秀賞 貯蓄

山田小学校 六年 松井有里

このごろ世界は、エネルギーのことで、大変な問題です。そして今、長い年月を費してできた石油も残りわずか、省エネルギーの時代とまでいわれられています。東京サミットなど女性首相をはじめとするカーター大統領などの人々が東京に集合しました。エネルギー問題を主な議題として、真げんに、話し合ったとニュースでありました。せいぜい、たくな生活を長い間してきた私たちはそれになれてしまっています。

わかるのですが、大変物が多いのです。今、落し物箱にはくつ下、ぼうし、ハンカチ、新しいくつ、シャツなど入っています。先生方も時々呼びかけてくださっています。全然大きくありません。拾おうともせず、見つけにこようともしません。まだみんな使えるものばかりなのでもったいないなと思います。物が泣いているのではないかと思います。この人たちはすぐに新しいものを買ってしまおうのでしょうか。

私もこんな点はみならわなければと思っています。小づかい帳をお母さんにみせると「どうしたの、こんなにもむだづかいをして」といわれます。私も、お母さんといわれたことは、よくわかっていました。けれども、つい、いいものに、ぶっつかると「ほしいなあ」と思ってしまうんです。それでつい買ってしまうんです。そして500円の小づかいは、すぐなくなってしまうんです。ちよつとで

るのではないでしようか、電気を長い間つけていたり、いらぬものにせん風機を回していたり、考えてみると、ずいぶん無駄使いが多いのに気がつきませんか。それにちよつときたくなると、すててしまったり、ちよつとでも、つかえなくなると私たちは、簡単に、すててしまいます。今の私たちに、物を大事にするという気持ちが、かけているように思います。私は今、児童会の会長を務めています。だから、

戦争中、戦争直後はどうだったか。お父さん、お母さんに聞いてみました。

お母さんの家は、米屋です。ごはんもちよとの米に、さつまいもなどがはいついていたそうです。お母さんの子どものころは、おばあちゃんのおさがりや、それを、きつたりして使ってたそうです。兄弟も戦争にいらっている兄さんもいますが、5人くらい。おばあちゃんも苦勞したんだなあという時思いました。

もたまると、使ってしまいます。みんなが協力して、たくわえておかなければならないもの、大事にしていく必要があると思います。今の人類は、ものを大切にすることを心がけるのが大切ですね。徳川吉宗はぜいいたくをせず、けん約をして幕府のさいせいをたてなおしたそうです。

日本・世界も、ものを大切に、私も、自覚し、できるだけむだ使いをせず貯蓄していこうと思っています。